



實性

平成三十年 第四号 秋彼岸発行

秋のお彼岸のご案内

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、今年の夏の暑さは厳しいものでした。朝夕少し涼しさを感じられるようになったこの季節、秋のお彼岸を迎えます。秋のお彼岸は、秋分の日（九月二十三日 日曜日）を中日にした一週間をさしますが、そもそも、彼岸とは、『彼岸』と書く通り、『此の岸』（私達の世界）とは想い対する極楽浄土を意味します。では、なぜ、この時期を『彼岸』と呼ぶのか。春分・秋分の日と『彼岸』の関係は、「太陽の位置」にあります。

「観無量寿経」には、「日想観にっそうかん」といって、夕陽の先に極楽浄土を思い浮かべる、という、仏道修行のひとつが描かれています。その修行に最も適している日こそが、太陽が真西に沈む春分・秋分の日で、これが「お彼岸」の由来となっているのです。

私達は、日常、仕事に、家庭に、そして、地域にと忙しく生活をしています。そこで、せめて年に二回、自分を育んで

くれたご先祖、ご両親様への感謝、そして、先立つた方々へのご回向、また、自身の修行のためにも『お彼岸』において共にお念仏を唱えましょう。

彼岸会法要

おちゆうにち

お中日



● 九月二十三日（日） 午前十一時より

お彼岸入り	九月 二十日（木）
お彼岸中日	九月二十三日（日）
お彼岸明け	九月二十六日（水）

※お彼岸のお塔婆はお早めにお申し込みください。

本年も、七月、八月、両孟蘭盆会法要が厳修されました。

両月合わせて三百名様のご参加をいただきました。

法要では、「絵で見る日常勤行式」を檀信徒の皆様とご一緒にお唱えいたしました。

法要前には、客殿にてお菓子とお抹茶を召し上がっていただきましたが、これは本堂にてお経を読む修行の一環でもあります。気持ちを引き締め、心を清めるための一服です。お茶を飲む前のお菓子は、空腹でのお茶は刺激が強く、「胃に負担をかけるのを防ぐ」もので、仏教においてはつきもののお茶一服です。

法要後では「心の暦」の抜粋の句「常懺悔」についてお話させていただきました。

【常懺悔】
じょうざんげ

懺悔（さんげ）とは、反省し、悔い改めるということですが、仏教のみならず、多くの宗教では、懺悔することが基本となります。

キリスト教では、懺悔（ざんげ）と読みますが、仏教では、懺悔（さんげ）と読みます。

日常勤行式の中でも、本文に入る前に懺悔偈をお唱えします。

懺悔偈

我昔所造諸悪業
皆由無始貧瞋痴
從身語意之所生
一切我今皆懺悔

〔訳〕

我れ昔より造る所の諸諸の悪い業らは
皆 無始の貧瞋痴に由る
身語意より生ずる所なり
我れ一切を今皆懺悔したてまつる

貧はむさぼりの心、瞋はいかりの心、痴は愚痴の心で、これを三毒といいます。

この三毒が身を通じ、語を通じ、心を通じて生じてまいります。今、私は、仏様の前で一切を懺悔いたします。

ここで、自分は悪いことをしていないという人がおられるも、これら三毒を知らず知らずのうちに生じているのです。今この世に生きることが、食のために命をいただき、知らぬところで他人を傷つけているのです。それが、人間でもあるのです。

「常懺悔」とは、これらを常に忘れずに、あらゆる自然、そして、人々のおかげで生かさせているのだと、気づかされる大切なお経です。

最後の十遍のお念仏は、西日本大豪雨で亡くなられた方々のためにも、皆様と共にお唱えいたしました。



盂蘭盆会



アメリカ白蓮



蜀紅蓮



酔妃蓮

蓮見の会

七月七日（土）吉例の「蓮見の会」開催されました。

四十名様程のお客さまでしたが初めて實性寺においでになられた方もいらっしゃいました。例年になく、蓮の花は数多く咲きました。

仏教で一番大切なお花、それが、蓮の花です。全ての仏様は蓮の花の台に乗られておいでです。浄土に往生すると、この蓮の掌に座るといわれています。

花はとても美しく、蓮の葉もまたすがすがしいものです。蓮の花を大事に思う一つに、蓮の花は清らかな水の中で育つのではなく、沼や田んぼのような泥の中で花を咲かせます。その美しい花は、汚れた水に触れることなく美しさを保ちます。経の一節に「如蓮華不着水」とあり、私共の心も同じようでありたいものです。

また、蓮の花は、花をつける前より種を宿しているとのこと、私共にも生前より善根の根が宿っています。その善の種を大切に育てましょう。

七月七日は、「七夕」にちなんだ書院飾り、お道具をご覧いただきました。蓮の葉に結んだ露で墨をすり、梶の葉に願い事を書いた故事にちなんだ飾りです。

「蓮見の会」では、普段なかなかご案内できないお茶室にて、抹茶を實性寺茶道部がお持てなしさせていただきました。

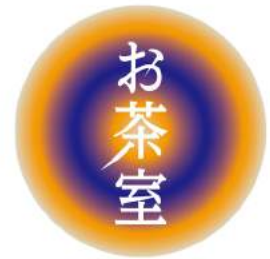
「蓮見の会」はどなたでもご自由にご参加できます（参加費無し）のでお誘い合わせの上お出かけください。



花入竹釣り舟



客殿床の間飾り



茶室路地を借景にした書院での飾り



Jisyoji
Tea ceremony
Classroom

第十九回 實性寺寄席

實性寺寄席を左記のように開催致します。ご家族、ご近所、お知り合いの方など、お誘い合わせのうえご来寺下さい。

日時 ● 十一月二十五日(日)

開場 ● 午後五時三十分

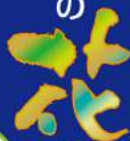
開演 ● 午後六時

会場 ● 實性寺本堂

木戸銭 ● 六百元



境内の



②



剣舞蓮



燭紅蓮



アメリカ白蓮

開門・閉門時間

冬時間にともない開門・閉門時間を変更させていただきます。

十一月～二月まで

● 開門 午前七時

● 閉門 午後四時

ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。



★ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込みください。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用ください。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出ください。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

